

# 平成19年の観光客数について

## 平成19年の概要

■平成19年の下関市観光客数は、延人数で約9,487千人、対前年比約353千人、3.86%増となりました。実人数は約6,129千人で、対前年比約169千人、2.83%増で、合併後最高の実績となりました。

■旧下関地区の観光客数は延人数6,316千人で、約130千人、率で2.10%の増となりました。このうち通年型観光客数は約234千人、率で5.56%の増ですが、季節型観光客数は、約104千人、率で5.22%の減となりました。

実人数ベースでは約3,580千人で、対前年比約0.3千人、率0.01%の減となりました。通年型観光客数では約1,699千人、対前年比約103千人、率にして6.48%増となったものの、季節型観光客数において、国民文化祭等大型イベントが開催された前年に比較して、約104千人、5.22%減となったためです。

■菊川地区の観光客数は実人数約493千人、対前年比約4千人、率にして0.87%の減となっています。国民文化祭の効果が大きかった前年の実績には及びませんが、平成17年実績約486千人に比較すると1.39%の増加となっています。

■豊田地区の観光客数は実人数約963千人、対前年比約111千人、率にして13.08%の増となりました。これは、道の駅「螢街道西ノ市」をはじめ、一の俣温泉や西ノ市温泉など温泉施設の利用が好調だったことが主な要因です。

■豊浦地区の観光客数は実人数約522千人、対前年比約21千人、率にして4.13%の増となっていますが、これも大河内温泉を中心に、温泉施設のご利用が伸びたことが主な要因です。

■豊北地区の観光客数は実人数ベースで約571千人、対前年比約41千人増、率にして7.81%の増となりました。引き続き角島地区への観光客が順調な伸びを見せています。

■宿泊者数は約780千人で、対前年比約11千人、率にして1.48%の増となっています。地区別に見ると、菊川、豊浦地区では減、その他の地区では増となっています。

■官民を挙げて取り組んでいる観光キャンペーン等のソフト戦略、また山陰観光列車の運行開始を機にテレビ番組はじめ各種メディアで紹介される機会が増大したこと等の要因によって、本市の観光客数、宿泊者数は堅調な推移を見せています。

## 観光客数

		H19	H18	増減	前年比
延 人 数	全体	9,486,869人	9,134,179人	352,690人	3.86%
	旧下関地区	6,315,614人	6,185,539人	130,075人	2.10%
	通年型観光客数	4,435,231人	4,201,510人	233,721人	5.56%
	下関駅地区	119,309人	104,879人	14,430人	13.76%
	唐戸地区	2,938,216人	2,784,141人	154,075人	5.53%
	火の山地区	432,409人	415,293人	17,116人	4.12%
	長府地区	324,991人	284,011人	40,980人	14.43%
	吉田地区	59,786人	59,973人	△187人	△0.31%
	山陰地区	123,131人	111,280人	11,851人	10.65%
	その他施設(旧下関)	437,389人	441,933人	△4,544人	△1.03%
	季節型観光客数	1,880,383人	1,984,029人	△103,646人	△5.22%
	菊川地区	515,805人	520,177人	△4,372人	△0.84%
	豊田地区	1,251,158人	1,112,032人	139,126人	12.51%
	豊浦地区	571,723人	551,514人	20,209人	3.66%
豊北地区	832,569人	764,917人	67,652人	8.84%	

		H19	H18	増減	前年比
実 人 数	全体	6,128,649人	5,959,779人	168,870人	2.83%
	旧下関地区	3,579,724人	3,579,982人	△ 258人	△ 0.01%
	通年型観光客数	1,699,341人	1,595,953人	103,388人	6.48%
	季節型観光客数	1,880,383人	1,984,029人	△ 103,646人	△ 5.22%
	菊川地区	492,980人	497,322人	△ 4,342人	△ 0.87%
	豊田地区	963,097人	851,688人	111,409人	13.08%
	豊浦地区	521,602人	500,923人	20,679人	4.13%
	豊北地区	571,246人	529,864人	41,382人	7.81%

【参考】 延人数：観光スポットやイベント等への観光客の単純合計人数

実人数：延人数の重複を考慮した観光客数

（1人が2箇所の観光スポットを訪れた場合、延人数は2人、実人数は1人となります。）

通年型観光客数：観光施設や史跡・名所など年間を通じて観光ができるスポットへの観光客数

季節型観光客数：祭りやイベントなど時期が限定される行事への観光客数

### 宿泊者数

		H19	H18	増減	前年比
宿泊者数		780,404人	769,044人	11,360人	1.48%
	旧下関地区	603,574人	597,541人	6,033人	1.01%
	菊川地区	7,053人	7,549人	△ 496人	△ 6.57%
	豊田地区	57,853人	54,322人	3,531人	6.50%
	豊浦地区	44,957人	47,211人	△ 2,254人	△ 4.77%
	豊北地区	66,967人	62,421人	4,546人	7.28%